

郷土紹介

世田谷通り

地形的には世田谷区の水嶽の様な所、烏山川と蛇崩川の間を東から西へ、ほぼ一直線に横切っている道が通称「世田谷通り」。

この辺りでは、上用賀と桜丘の町境を通り抜けている。三軒茶屋のキヤロットタワー、上町の代官屋敷、上用賀の馬車公苑、砵のファミリアパーク、NHK技術研究所等を右左に眺めながら拍江市の多摩水道橋で多摩川を渡る。この道の正式な名称は都道三号線、川を越えて川崎市側に入ると鶴川街道となる。

この世田谷通りも歴史的には大変古い道、西へ向って、登戸道、津又井道、黒

歴史・自然・きずな

いつも「ひろば」を眺ませて頂きながら、用賀出張所管内の歴史の豊かさ、自然の豊かさ、そして地産地消のきずなの強さを感じております。

最近号の「わが町70年」も、「夏さわやかに」も、「支えあって楽しいわが町」も、みなそのよさを表わしています。この中で子どもたちが見守られていること、感謝しております。

昨年、桜町小学校は、学校協議会主催の「夏まつり」で防災体験しを開催出来ました。地域、保護者のご援助を頂いて、楽しく盛大に実施することが出来ました。

地域の中で

会そのものの楽しさには勿論ですが、そこに至るまでの関係者の協力の過程こそが大きな財産になったと信じています。

桜町小学校は、今年「ふれあいラリー」の会場を務めさせて頂きました。

広い校庭、2本の大けやみ、大きな舞台、池など、会場を有効にご使用いただき、楽しい催しものになりましたと思います。

青少年用賀地区委員会をはじめ、出張所の皆様方のご支援を心よりお願い申し上げます。



私とふるさと

群馬県は、伊香保温泉の裾野から草津温泉への街道の途中にある、小さな村で育ちました。

西南に榛名山、東に赤城山を頂き、利根川の支流に吾妻川の本流が流れこんだ辺りの段丘に、戦国時代の長尾影仲の城跡があります。一本道の真中に客間隔の釣瓶井戸、時代劇のセットを見ている様な風景は往時を彷彿させます。

六世祖のはじめ、榛名山の噴火で出来た軽石屑の堆積地には、せいぜい蕎麦か甘藷、蕎麦等でした。蛋白源と言えば、鶏の卵か山羊の乳、時々流川町から自販車ややって来る目の赤いさんまぐらいのものでした。冬の赤城おろしの吹き荒ぶ

スポーツ

今年の夏の行事

- ①金踊り
用賀くすの木公園
7月23日(水)24日(木)
五川三丁目高架下
7月25日(金)26日(土)
瀬田小学校
7月26日(土)27日(日)
用賀小学校
8月22日(金)23日(土)
②子ども映画会
上用賀アートホール
7月22日(火)
瀬田中学校
8月7日(木)
用賀区民集会所
8月26日(火)
③たまたがわ花火大会
8月16日(土)
④用賀納涼の夕べ
用賀いらか道
8月18日(月)



わが故郷

中、真赤なホッペを学校に通っていました。そんな村にも皇太子(現天皇)の御成婚を機にテレビジョンが普及し、その影響からか杉並区に嫁いでいた姉を頼りに上京しました。東京オリンピックの年には結婚をし、隣町の大蔵団地に十年暮しました。一生懸命働いて懐れの用賀に家を買って、皆様にお世話になって三人の子育ても何とか終わろうとしています。

子供達から「ボク達の故郷をなくさないで」の声にレッカリ守っていかねばと考えております。

それにつけても思う事はひとつ。

「ふるさとの山に向いて言う事なし、ふるさとの山はありがたきかな」です。ね。



暑したたる汗、眩しい空、冷たい水...

夏休みが始まりました。今年ほどんな計画が出来ているのでしょうか。

※今号は、グラウンドゴルフ、早朝野球、ウエーキング、犬との散歩、ストレッチなどで健康増進に励んでおられる方々をご紹介します。

※今号から、新しい編集委員として千野昭江さんが加わりました。自己紹介も兼ねて、千野さんの「ふるさど」を語ってもらいました。

※「ふるさど」とは、夏になると思い出す様な気がします。この夏、「ふるさど」の山はありがたきかなを、実感させてみるのも一興では。

(折原)